

各社の直近の重点施策

2024年2月22日
(一社) 日本百貨店協会

【松屋】

【次世代リーダー育成プログラム「Future Leaders Academy in Ginza」(4/13～)】

松屋は、デザイン感度を持った次世代リーダーを育成する場として、「Future Leaders Academy in Ginza」を開講する。

【東武百貨店】

【「バウムクーヘン博覧会」を開催(1/24～)】

東武百貨店池袋本店は、「バウムクーヘン博覧会」を開催。2回目となる今回は売場面積を約1.4倍に拡大、全国47都道府県から約300種類以上のバウムクーヘンが集結した。

【「第44回大鹿児島展」開催(2/22～)】

東武百貨店池袋本店は、「第44回大鹿児島展」を開催。食と工芸合わせ約80店が集結。注目は鹿児島県産「黒毛和牛」食べ比べ。

【そごう・西武】

【そごう・西武で春節プロモーション開催(～2/17)】

そごう・西武では訪日観光客が増加する春節にあわせて、都心店舗を中心に春節プロモーションを開催。日本ならではの文化やイベント体験の企画提案で春節商戦を盛り上げる。

【「美流百華マガジン&WEB」春号 デパコスフロアの活用術を紹介(2/9～)】

シーズンテーマに合わせて様々なビューティー情報をお届けするコスメ&ビューティーマEDIA「美流百華」で、『魅力再発見！デパコスフロアの活用術』などを特集。

【新しい「ママの学校行事スタイル」を提案(～3/17)】

そごう・西武では、TPOを意識しながらも、様々なシーンで自由に着回しを楽しめるセレモニースタイルをバリエーション豊かに提案する。

【阪急阪神百貨店】

【阪神梅田本店「阪神の有名駅弁とうまいもんまつり」(2/22～)】

全国各地から実演21店舗を含む、約300種類の駅弁が集結。関西にいながら有名駅弁はもちろん、パッケージ映えするユニークな駅弁や新作駅弁などを楽しめる。

【阪急うめだ本店「春の九州物産大会」(2/21～)】

今年は祝祭広場まで拡大し2会場で九州7県の魅力を紹介。街並みや伝統を感じさせる城下町で受け継がれる工芸と食、7県それぞれで名産とされるフルーツをクローズアップ。

【阪急うめだ本店「第7回クッキーの魅力」(2/28～)】

関西のクッキーブームを巻き起こした名物イベント「クッキーの魅力」。今回はクッキーの“食感”と“厚み”に注目。新たなクッキーの魅力に浸れる2週間。

【大丸松坂屋百貨店】

【日本が誇るポップカルチャーがさらに充実。話題の3ショップがオープン(2/9～)】

国内外のお客様がもっと楽しめるお店に、大丸梅田店5階がリニューアル。「新たなジャパニカルチャーの魅惑のフロア」へと、日本が誇るポップカルチャー3ショップオープン。

【西田俊英展 不死鳥—前代未聞のスケールで描く巨大作 (2/10～)】

松坂屋美術館では「西田俊英展 不死鳥—前代未聞のスケールで描く巨大作」を開催。全長90m、全6章の超大作の完成を目ざす本作の、第3章の一部までを一挙公開する。

【第33回大九州物産展 (2/21～)】

松坂屋名古屋店では、今年で33回目となる「大九州物産展」を開催。今年のテーマは「おいしいお肉」。畜産大国である九州の美味しい「お肉」の魅力を全力で発信する。

【松坂屋名古屋店改装計画】

松坂屋名古屋店は、本館が現在地に建設されてから100年という大きな節目の年に向けて、改装を実施する。2024年冬に第1弾リニューアルオープン予定。

【高島屋】

【【日本橋高島屋】「北欧展」開催 (2/29～)】

日本橋高島屋 S.C. では、“北欧”を切り口にしたグルメ・生活雑貨・ファッションアイテムなどを展開する「北欧展」を開催する。

【【日本橋高島屋】「椅子とめぐる20世紀のデザイン展」開催 (2/29～)】

日本橋高島屋 S.C. では、ODA COLLECTION「椅子とめぐる20世紀のデザイン展」を開催。デザインの変遷を、織田憲嗣氏のコレクションから厳選した名作椅子を案内役にしてたどる。

【【高島屋資料館】企画展「人間 栖鳳」-生誕160年知られざる竹内栖鳳-開催 (3/9～)】

生涯を通じて高島屋とは深い関わりを持った竹内栖鳳。生誕160年を記念して開催する本展では、代表作から書簡まで、高島屋史料館所蔵品を余すところなく紹介する。

【三越伊勢丹】

【三浦大地作「Josie's RUNWAY」100点以上が伊勢丹新宿店に一堂に集結 (2/28～)】

伊勢丹新宿店では、三浦大地氏による同店での本格的なアート展第2弾「DAICHI MIURA DIALETHEISM」を開催する。

【春の新生活を彩る「三越文具フェア2024」開催 (2/28～)】

日本橋三越本店では、「ココロ躍る、文具の祭典 三越文具フェア2024」を開催。本イベントでは5つのテーマを掲げ、選りすぐりのアイテムを取り揃える。

【【重版決定】三越アンソロジー小説「時ひらく」が発売1週間で重版決定】

2月6日に発刊された三越アンソロジー小説『時ひらく』文庫本の重版が決定。三越創業350周年を記念し、6人の人気作家による三越を題材にしたオリジナル短編小説をまとめた本。

【近鉄百貨店】

【石窯ベーカリー「BRØDON (ブロードン)」大阪初出店 (2/21～)】

近鉄百貨店は、フランチャイズ契約による直営ベーカリー事業として、石窯ベーカリー「BRØDON あべのハルカス近鉄本店」をタワー館地下1階洋菓子売場にオープンする。

【百貨店自主運営のラーメン店「24世紀ラーメン」オープン (3/2～)】

近鉄百貨店は、UNCHI とフランチャイズ契約を結び、「あべのハルカスダイニング」に、新ブランド「24世紀ラーメン」をオープンする。

【近鉄百貨店奈良店で輪島塗展示販売会を開催 (2/27～)】

近鉄百貨店奈良店では、1月1日に発生した能登半島地震に対する支援の一環として、輪島塗展示販売会「輪島塗をつなぐ」を開催する。

[施策概要]

【松屋】

【次世代リーダー育成プログラム「Future Leaders Academy in Ginza」(4/13～)】

松屋は、デザイン感度を持った次世代リーダーを育成する場として、「Future Leaders Academy in Ginza」を開講する。

コンセプトは「デザイン感度を持ったビジネス人材を育成する百貨店・松屋」。「デザイン感度を持った次世代リーダー育成による、ものづくり産業や小売業などの made in Japan に携わる全体の活性化」「松屋の強みを生かした百貨店業以外の新規事業の創造」を目的に、4/13より全15日、合計33回開催する。(リリース)

【東武百貨店】

【「バウムクーヘン博覧会」を開催(1/24～)】

東武百貨店池袋本店は、「バウムクーヘン博覧会」を開催。2回目となる今回は売場面積を約1.4倍に拡大、全国47都道府県から約300種類以上のバウムクーヘンが集結した。

各地こだわりのバウムクーヘンが一堂に並ぶ【ご当地バウムクーヘンコーナー】のほか、各店舗がブースを構え出店する【ブランドブース】では、初出店6店舗を含む人気ブランド18店舗が展開。東武限定品の販売や普段はオンライン販売のみのブランドも出店。(リリース)

【「第44回大鹿児島展」開催(2/22～)】

東武百貨店池袋本店は、「第44回大鹿児島展」を開催。食と工芸合わせ約80店が集結。注目は鹿児島県産「黒毛和牛」食べ比べ。

「鹿児島黒牛」「黒毛姫牛」「小田牛」などを使用した東武限定弁当やハンバーガー、サンドイッチをご紹介します。また、収穫量日本一を誇る鹿児島県産「さつまいも」を使用したパフェやかき氷を東武限定で提供するほか、会場で4品種の焼き芋食べ比べを楽しめる。イトイン初企画として、「かごしま茶」飲み比べも展開する。(リリース)

【そごう・西武】

【そごう・西武で春節プロモーション開催(～2/17)】

そごう・西武では訪日観光客が増加する春節にあわせて、都心店舗を中心に春節プロモーションを開催。日本ならではの文化やイベント体験の企画提案で春節商戦を盛り上げる。

近年の訪日観光客は爆買いといった購買傾向から、円安影響により高額品の購入や、お土産品として食品など消耗品の購入、また日本ならではのコト消費に変化している。そこでそごう・西武では、訪日観光客に向けてバレンタインなどこの時期ならではのイベントのご紹介や、茶道教室といった体験企画を実施。(リリース)

【「美流百華マガジン&WEB」春号 デパコスフロアの活用術を紹介(2/9～)】

シーズンテーマに合わせて様々なビューティー情報をお届けするコスメ&ビューティメディア「美流百華」で、『魅力再発見！デパコスフロアの活用術』などを特集。

「美流百華マガジン&WEB」春号では、最新コスメアイテムの提案だけでなく、肌やメイクの相談や肌解析、各店のコスメイベント情報などデパコスフロアの魅力を改めて紹介。WEBでは、最旬春メイクや夏の猛暑や暖冬で1年を通して注目の高まるUV・美白対策など

の今取り入れたいビューティー情報をタイムリーに配信する。(リリース)

【新しい「ママの学校行事スタイル」を提案（～3/17）】

そごう・西武では、TPOを意識しながらも、様々なシーンで自由に着回しを楽しめるセレモニースタイルをバリエーション豊かに提案する。

式典での着用はもちろん、その後の保護者会や個人面談などの学校行事、さらにはお仕事着やプライベートにも着回せるなど、自由なスタイルで学校行事を楽しむママが増えている。TPOをわきまえ、きちんと見えする&華やかな新しい“ママの学校行事スタイル”を提案する。(リリース)

【阪急阪神百貨店】

【阪神梅田本店「阪神の有名駅弁とうまいもんまつり」(2/22～)】

全国各地から実演 21 店舗を含む、約 300 種類の駅弁が集結。関西にいながら有名駅弁はもちろん、パッケージ映えするユニークな駅弁や新作駅弁などを楽しめる。

今回の目玉の1つは、JR九州の特急「指宿たまたま箱」に乗りたくないとお手に入らないお弁当。さらに今回、「桃太郎電鉄」とコラボし、キャラクターがデザインされた井ぶりや実際にゲーム内で登場した駅弁などを販売する、“ゲーム好きにもたまらない”イベント。日本の食文化とも言える“駅弁”を満喫できる。(リリース) 期間：2/22～2/28/

<https://web.hh-online.jp/hanshin/contents/saiji/ekiben/>

【阪急うめだ本店「春の九州物産大会」(2/21～)】

今年は祝祭広場まで拡大し2会場で九州7県の魅力を紹介。街並みや伝統を感じさせる城下町で受け継がれる工芸と食、7県それぞれで名産とされるフルーツをクローズアップ。

九州の食と工芸の魅力を存分に楽しむ「春の九州物産大会」。旅したような気分を味わえる人気の土産コーナーは100種類以上のアイテムが充実。イートインでは人気の熊本ラーメンや、初登場の福岡・小倉で有名な回転寿司店など、初登場18店舗を含む約90店舗で九州の味と伝統の技を紹介。(リリース) 期間：2/21～2/26 <https://website.hankyu-dept.co.jp/honten/h/kyushu/>

【阪急うめだ本店「第7回クッキーの魅力」(2/28～)】

関西のクッキーブームを巻き起こした名物イベント「クッキーの魅力」。今回はクッキーの“食感”と“厚み”に注目。新たなクッキーの魅力に浸れる2週間。

関西のクッキーブームを作り出すだけでなく、毎回新たな商品提案でブームを牽引している阪急うめだ本店の春の名物催事「クッキーの魅力」。第7回を迎える今回は、クッキーの“食感”と、その食感には欠かせない“厚み”に注目。さらに、新たなトレンドの予感がする甘くない大人のクッキー“サレ・クッキー”や、人気が続くクッキー缶が魅力の商品等も登場。(リリース) 期間：2/28～3/11 <https://website.hankyu-dept.co.jp/honten/h/kyushu/>

【大丸松坂屋百貨店】

【日本が誇るポップカルチャーがさらに充実。話題の3ショッパがオープン(2/9～)】

国内外のお客様がもっと楽しめるお店に、大丸梅田店5階がリニューアル。「新たなジャパンカルチャーの魅惑のフロア」へと、日本が誇るポップカルチャー3ショッパオープン。

<仮面ライダーストア OSAKA><クレヨンしんちゃんシネマパレードツアー><mofusand もふもふストア出張所>がオープン。5階のフロアをリニューアルするにあたり、新たなジャパンカルチャーを体験できる拠点を構築。バリエーションに富んだ充実のコンテンツ提案で、さら

に幅広いお客様にお楽しみいただき、エンターテインメント性が益々高まる大丸梅田店を目指す。(リリース)

【西田俊英展 不死鳥—前代未聞のスケールで描く巨大作 (2/10～)】

松坂屋美術館では「西田俊英展 不死鳥—前代未聞のスケールで描く巨大作」を開催。全長90m、全6章の超大作の完成を目ざす本作の、第3章の一部までを一挙公開する。

西田俊英は、2022年から約一年間、屋久島に滞在して巨大絵画《不死鳥》を描いた。2023年の発表当時は第2章までの約40mであったが、全6章で全長90mにも及ぶ超大作の完成を目指している。本展では、新たなインスピレーションを交えてライフワークとして取り組む本作をさらに進化したかたちで第3章の一部までを一挙公開する。(リリース)

【第33回大九州物産展 (2/21～)】

松坂屋名古屋店では、今年で33回目となる「大九州物産展」を開催。今年のテーマは「おいしいお肉」。畜産大国である九州の美味しい「お肉」の魅力を全力で発信する。

大九州物産展は、北海道物産展に次ぐ人気の物産展催事で、初出店13店舗(食品10、工芸3)を含む88店舗(食品65、工芸23)が出店。九州名物料理を出来立てで味わえるイートインコーナーやその場で調理する食品の実演販売、職人による工芸品の実演もあり、九州・沖縄の魅力を堪能出来る。(リリース)

【松坂屋名古屋店改装計画】

松坂屋名古屋店は、本館が現在地に建設されてから100年という大きな節目の年に向けて、改装を実施する。2024年冬に第1弾リニューアルオープン予定。

松坂屋名古屋店では、2021年～2023年の中期3か年計画においてお客様を中心とする顧客基盤を深めるべく、改装やコンテンツの編集などラグジュアリーゾーンの構築を進めてきた。この度の改装では、これを土台に本館をメインに改装。拡大する若年富裕層を中心とする新たな顧客層にもご支持いただけるようなコンテンツ構築を進めることで、新百貨店モデルを実現する。(リリース)

【高島屋】

【【日本橋高島屋】「北欧展」開催 (2/29～)】

日本橋高島屋S.C.では、“北欧”を切り口にしたグルメ・生活雑貨・ファッションアイテムなどを展開する「北欧展」を開催する。

長い冬が終わり、北欧の春支度に欠かせないカラフルな色使いや個性的なデザインでありながらも生活に馴染む温かみのある北欧アイテムや、伝統的なグルメなどが勢揃いする。また、北欧の発酵技術を駆使した料理やノーベル賞授賞式で振る舞われたメニューを再構成・再現した料理が会場内でお楽しみいただけるイートインも展開する。(リリース)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000655.000069859.html>

【【日本橋高島屋】「椅子とめぐる20世紀のデザイン展」開催 (2/29～)】

日本橋高島屋S.C.では、ODA COLLECTION「椅子とめぐる20世紀のデザイン展」を開催。デザインの変遷を、織田憲嗣氏のコレクションから厳選した名作椅子を案内役にしてたどる。

織田コレクションは、椅子研究家の織田憲嗣氏が長年かけて収集、研究してきた20世紀のすぐれたデザインの家具と日用品のコレクション。北欧を中心とした椅子やテーブルから照明、食器やカトラリー、木製のおもちゃまで多岐にわたり、写真や図面、文献などの資料を含め、近代デザイン史の変遷を俯瞰できる極めて貴重な資料として世界的にも高い評価を得ている。

(リリース) <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000628.000069859.html>

【高島屋資料館】企画展「人間 栖鳳」-生誕 160年知られざる竹内栖鳳-開催 (3/9~)】

生涯を通じて高島屋とは深い関わりを持った竹内栖鳳。生誕 160 年を記念して開催する本展では、代表作から書簡まで、高島屋史料館所蔵品を余すところなく紹介する。

東洋と西洋の絵画表現を融合し日本画を革新したといわれる近代日本画の巨匠 竹内栖鳳。栖鳳は、20 代半ば頃より、高島屋の画室に画工として勤務。栖鳳監修のもと、高島屋が次々に製作した“美術染織品”は各国の博覧会で高い評価を受けた。本展では、栖鳳の代表作から書簡まで余すところなくご覧いただき、喜び、怒り、詫び、笑う—知られざる「人間 栖鳳」の素顔を紹介する。(リリース) <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000657.000069859.html>

【三越伊勢丹】

【三浦大地作「Josie's RUNWAY」100 点以上が伊勢丹新宿店に一堂に集結 (2/28~)】

伊勢丹新宿店では、三浦大地氏による同店での本格的なアート展第 2 弾「DAICHI MIURA DIALETHEISM」を開催する。

今回の展示では、三浦氏のファッションアイコンイラストレーションである「Josie's RUNWAY」の原画やクリスタルを用いた抽象画の新作など、100 点以上が一堂に会する。また、会場で楽しめるカプセルトイ「Crystal Fortune Capsule」や Josie が着用する サングラスを再現した「Josie's Sunglasses」なども販売。三浦氏の世界観が体験できる。(“DIALETHEISM=真矛盾主義：真なる矛盾が存在するという哲学上の立場”) (リリース)

【春の新生活を彩る「三越文具フェア 2024」開催 (2/28~)】

日本橋三越本店では、「ココロ躍る、文具の祭典 三越文具フェア 2024」を開催。本イベントでは 5 つのテーマを掲げ、選りすぐりのアイテムを取り揃える。

日本橋三越本店では、「ココロ躍る、文具の祭典 三越文具フェア 2024」を開催。このイベントでは、万年筆をはじめとした高級筆記具、インク、ガラスペン、木軸ペン、クラフト文具の 5 つのテーマを掲げ、本館 7 階催物会場と本館 5 階ステーションナリーステーションおよびスペース # 5 の 3 つの会場で、選りすぐりのアイテムを取り揃える。ワークショップや実演などのイベントを交えて、書くことの楽しさや文具の魅力を紹介する。(リリース)

【重版決定】三越アンソロジー小説「時ひらく」が発売 1 週間で重版決定】

2 月 6 日に発刊された三越アンソロジー小説『時ひらく』文庫本の重版が決定。三越創業 350 周年を記念し、6 人の人気作家による三越を題材にしたオリジナル短編小説をまとめた本。

この本は、三越創業 350 周年を記念し、文藝春秋が出版する小説雑誌『オール讀物』に掲載された柚木麻子さん、恩田陸さん、阿川佐和子さん、辻村深月さん、東野圭吾さん、伊坂幸太郎さんの 6 人の人気作家による三越を題材にしたオリジナル短編小説をまとめたもの。2023 年 5 月号から全 6 回にわたり連載され、三越アンソロジー小説『時ひらく』文庫本として発刊された。(リリース)

【近鉄百貨店】

【石窯ベーカリー「BRØDON (ブロッドン)」大阪初出店 (2/21~)】

近鉄百貨店は、フランチャイズ契約による直営ベーカリー事業として、石窯ベーカリー「BRØDON あべのハルカス近鉄本店」をタワー館地下 1 階洋菓子売場にオープンする。

「BRØDON」は、アンデルセングループのフランチャイズベーカリー事業を手掛けるタカキベー

カリーと協業し、2016年6月に四日市店に第一号店を立ち上げた独自のベーカリーブランド。4店舗目となる今回が大阪への初出店となる。「パンと人の温かさが感じられる石窯ホームベーカリー」をブランドコンセプトに、百貨店らしい上質感を打ち出しながら石窯パンを通じて食のライフスタイルを提案している。(リリース)

【百貨店自主運営のラーメン店「24世紀ラーメン」オープン(3/2～)】

近鉄百貨店は、UNCHIとフランチャイズ契約を結び、「あべのハルカスダイニング」に、新ブランド「24世紀ラーメン」をオープンする。

近鉄百貨店は、フランチャイズ事業の展開強化に積極的に取り組んでおり、既存事業の多店舗化や最新の消費動向に対応した新業態の開発にも力を入れている。今後の収益事業として飲食事業のバリエーション拡大を目指し、知名度の高い人気ラーメン店「人類みな麺類」とコラボし、自主運営のラーメン店を展開する。「24世紀ラーメン」は、「人類みな麺類」の“近未来ブランド”として「24世紀」に思いを馳せた世界観を表現する。(リリース)

【近鉄百貨店奈良店で輪島塗展示販売会を開催(2/27～)】

近鉄百貨店奈良店では、1月1日に発生した能登半島地震に対する支援の一環として、輪島塗展示販売会「輪島塗をつなぐ」を開催する。

伝統工芸である輪島塗を未来へと受け継いでいくため、伝統産業発祥の地である奈良の漆器職人が発起人となり開催するイベントで、分業で行う輪島塗の製作工程ごとの職人たちが直接販売する。美しい輪島塗の工芸品を手にとっていただくことや、支援の言葉を直接伝えていただくことを通じて、復興への絆を醸成する機会へとつなげていく。(リリース)

以上